Ⅱ．教育の内容

１．教育課程

現在の目覚ましい発展を遂げる ICT 社会とグローバル化する国際社会の中で、学校法人東海大学創設者 松前重義博士が掲げる教育指針の四訓である『若き日に汝の思想を培え』『若き日に汝の体躯を養え』『若き日に汝の智能を磨け』『若き日に汝の希望を星につなげ』のもと、バランスのとれた専門教育の実現を教育目標の根幹に据え、ガイダンス、教育課程、資格取得用補助教育、進路指導、授業評価、国際交流、地域社会活動、ファカルティ・ディベロプメント(FD)、学生募集、教職員人事、施設整備、組織改革など、教育に関連するすべてにおいてこの基本理念を推進している。また、「語学力」「ICT 力」「マネジメント力」「コミュニケーション力」の４つを土台とし、プロジェクト研究・ゼミナールをカリキュラムの中核として２年間で真のチカラを養う教育を展開している。

本学の教育課程は、総合教育科目等を中心とする両学科共通科目、各学科の専門科目によって構成されている。

（１）両学科共通科目

高等教育機関の存在意義は、専門科目の学修のみにあるのではなく、社会人として、すぐれた教養と考える力をもった人材を輩出するところにある。従って、カリキュラムにおける両学科共通科目は、専門科目履修に先立つ基礎教育として重要な役割を果たすために、情報処理学科と国際文化学科に共通の内容をもつ基礎科目群として開講されている。ここでは、各科目の独自性を維持しつつ、高等教育機関の特色である、広い視野を備えた学生の育成を図るという教育理念および本学教育の基本目標のもとに、各科目が構成されている。特に、短大として、教養教育を専門教育等のすべての教育の基盤としてバランスのとれた教育体制の実現という方針から、従来の教養科目を配した総合教育科目を軸に、初年次教育を充実させる共通基礎科目、将来形成を担うキャリア教育、グローバル社会への対応の基盤づくりである外国語等を配置している。

１）構成

- 現代文明論
- 総合教育
- スポーツ
- 共通基礎
- キャリア教育
- 外国語
- 留学生日本語
- 海外留学

２）2017 年度現代文明論Ⅰ・II 概要

東海大学は、学園全体において、その教育の中心軸に「現代文明論」を置いている。その目的は、本学園における建学の精神や教育の指針について理解を深めるとともに、専門分野の枠を超えた多様な視点から文明の過去・現在・未来を巡り、物質文明と精神文明との調和について考え、そして、人道主義・人格主義に基づいた自らの思想、ものの見方、考え方を涵養することにある。この現代文明論は、東海大学、短期大学（部)、付属高等学校において必修科目として設定され、根本の哲学を共有しながら、各教育機関の特性を生かした教育展開がなされている。

この学園全体の教育方針を踏まえ、2016 年度の授業展開において、授業外個別指導や e ラーニングによる補習の実施を含め、その授業目標の達成を強く指導した結果、全学生が合格の判定を得た。受講対象たる学生が０となったことから、本年度は現代文明論Ⅰ及び II を閉講とした。但し、在籍学生が現代文明論授業の内容を振り返りしやすくすることを狙い、2016 年度の講義ビデオ・資料については公開を継続した。

2017 年度は最履修者が出なかったため、実施しなかった。

3）カリキュラム

両学科共通科目（2016年度生）

科目の種別	授業科目名	授業形態	必選別	単位数	開講セメスター（開講はセメスター単位。数字は１週あたりの時間数。集中授業の場合は「集」と記載）				教員配置（兼担非常勤には「※」マーク）	受講者数（セメスター開講科目については累計。斜線は履修者数未確定）	e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ	備考
					1	2	3	4				
現代文明論	現代文明論I	講義	○	2	2				専任	72	＊	4単位必修
	現代文明論II	講義	○	2		2			専任	76	＊	
総合教育	ビットの時代と社会	講義	●	2	2	2			非常勤	74		選択必修4単位以上
	環境と地球	講義	●	2	2	2			非常勤	37		
	観光とレジャー	講義	●	2	2	2			専任	56		
	企業と社会	講義	●	2	2	2			専任	27		
	現代社会と思想	講義	●	2			2	2	専任			
	言葉と文化	講義	●	2			2	2	専任			5単位必修
	文学と歴史	講義	●	2			2	2	専任			
	健康とスポーツ	講義	●	2			2	2	専任			
スポーツ	スポーツ理論及び実習Ａ	実習	×	1	2				専任	40		
	スポーツ理論及び実習Ｂ	実習	×	1		2			専任	31		
共通基礎	フレッシュマンゼミナール	演習	○	1	2				専任	83		8単位必修
	３カ国語I	講義	×	2		2			専任	37		
	３カ国語II	講義	×	2				2	専任			
	情報リテラシーＡ	実習	○	1	2				専任	85	＊	
	情報リテラシーＢ	実習	○	1		2			専任	79	＊	
キャリア教育	キャリアプラニングＡ	講義	○	2		2			専任	88		選択必修2単位以上
	キャリアプラニングＢ	講義	×	2			2		専任			
	キャリア対策Ａ	講義	×	2		2			専任	37		
	キャリア対策Ｂ	講義	×	2			2		専任			
	企業実習	実習	×	2		集	集		専任			
外国語	英語I	講義	●	1	2				専任	58		
	英語II	講義	●	1		2			専任	51		
	韓国語I	講義	●	1	2				専任	55		
	韓国語II	講義	●	1		2			専任	40		
	中国語I	講義	●	1	2				専任	36		
	中国語II	講義	●	1		2			専任	45		
	フランス語I	講義	●	1			2		専任			
	フランス語II	講義	●	1				2	専任			
留学生日本語	日本語コミュニケーションI	講義	×	1	2				非常勤	6		
	日本語コミュニケーションII	講義	×	1		2			非常勤	7		
	日本語研究	講義	×	1	2				専任	0		
	日本事情	講義	×	2		2			専任	1		
海外留学	ハワイ短期留学	講義	×	2	集				専任	7		
	韓国短期留学Ａ	講義	×	2	集				専任	16		
	韓国短期留学Ｂ	講義	×	2		集			専任	8		
	中国短期留学	講義	×	2		集			専任	6		
	海外短期留学	講義	×	4	東海大学海外派遣留学制度その他の留学を含む				専任			
	海外中期留学	講義	×	6					専任			
	海外長期留学	講義	×	8					専任			
	海外研修（航海）	講義	×	4		集			専任	1		

４）自己点検・評価

ICT の発展とグローバル社会への対応に即した現代の人材育成を考えたとき、バランスのとれた教育体制と各科目で養った知識とスキルを実践活動による教育を通じて統合化・全体化し、経験から得た統合された能力を養っていく教育システムの構築が求められる。そのため、2014 年度にカリキュラムを抜本的に見直し、「語学力」「ICT 力」「マネジメント力」「コミュニケーション力」の４つをベースにしたバランスのとれた教育を通じて、プロジェクト研究・ゼミナールを中心に据えた上記を実現するカリキュラム構成とした。第１セメスターに「フレッシュマンゼミナール」を配置し、初年次教育を通じてプロジェクト研究・ゼミナール、学生自身の進路への意識付けを行うと同時に、「情報リテラシーＡ・Ｂ」「３カ国語Ⅰ・II」やキャリア教育など教育目標の実現に向けた教育を展開した。

各学科の専門科目の中で実施されるプロジェクト研究やゼミナールでは、その活動状況からみて一定の成果を上げている。また、進路に関しても就職、編入、留学など早期にその方向性を決定している傾向にあり、特に留学に関しては韓国の大学への編入などを含め多くの学生の希望が出てきている。2015 年度に改定したカリキュラムの完成年度であるが、改定の狙いであった４つの土台をベースとしたバランスのとれたて教育の展開に向けて、所期の成果を上げることができたのではないかと考えている。

（２）情報処理学科

１）教育方針・構成（カリキュラムポリシー）

21 世紀の ICT(Information and Communication Technology / 情報通信技術)社会では、予想をはるかに越えるスピードで社会の情報化が進んでおり、あらゆる分野のデジタル化・モバイル化・ネットワーク化が進展していく中で、新しい事業分野が創出され、産業・経済・社会を大きく変革させている。そのため、従来からの情報処理産業のみならず、事務・営業・財務・医療など、広範な領域において ICT は不可欠なものとなっている。

情報処理学科では、モバイル情報機器、ソーシャルネットワーク、クラウドサービスなど新しい情報の流れを幅広く活用するスキルを身につけ、それらを様々なビジネス現場でより有効に応用し、即戦力として活躍できるだけの ICT 活用力と応用力を育むことを教育の目標としている。また、ビジネスの実務者として柔軟に対応できるだけでなく、近未来コンピューティングを志向できる総合的なディジタル教養を有する人材の育成を図っている。

これを実現するために、情報処理学科では、ディジタルコンテンツを表現あるいは作成する分野、エンドユーザとしてコンピュータを業務推進のために活用する側の分野を中心にカリキュラムを構築し、教育を展開している。

Web デザイン分野

情報ネットワークの中心ともいえる現在のインターネット上のコンテンツを総合的に取り扱った製作技術や活用法を学ぶ本分野では、絶えず新しく進化し続ける Web の専門知識とスキルのみならず、幅広い ICT の知識を有したバランスのとれた人材が求められている。そこで、「Web デザイン」と「情報処理技術者」の学科目群を中心に「デジタルアート」等を交えながら、「プロジェクト研究」で実践教育を通じた教育を行っている。

卒業後の活躍可能分野は、Web コンテンツ制作やその関連業務、情報サービス分野、システムエンジニアなど企業等での情報化推進分門やネットワーク関連業務などである。

デジタルアート分野

映画、CM、ゲームなど、さまざまな分野に活用される CG アニメーションコンテンツの制作スキルとその活用力を学ぶ本分野では、Web 制作、映像、音楽、プログラム、情報発信などの知識と技術をバランスよく兼ね備えた人材が求められている。そこで、「デジタルアート」と「情報処理技術者」の学科目群を中心に「Web デザイン」等を交えながら、「プロジェクト研究」で実践教育を通じた教育を行っている。

卒業後の活躍可能分野は、CG 映像コンテンツ制作やその関連業務、雑誌／広告編集業務やその関連業務などである。

オフィスマネジメン分野

オフィス業務で使われる ICT・モバイル機器、ソーシャルネットワーク、クラウドサービスによるビジネスの効率化を学ぶ本分野では、ビジネス基礎や流通に関する知識やデータ分析、データ活用手法などを通じて、その中での ICT 活用力を有する人材が求められている。そこで、「オフィスマネジメント」の学科目群を中心に「情報処理技術者」「Web デザイン」等を交えながら、「プロジェクト研究」で実践教育を通じた教育を行っている。

卒業後の活躍可能分野は、一般事務を含むオフィス業務、金融機関関連業務、各種接客販売業務などである。

医療情報分野

医療事務に関する基礎知識や医事コンピュータの基礎スキルを学ぶ本分野では、エンドユーザーとしての知識やスキルだけでなく、幅広いディジタル教養を有する人材が求められている。そこで、「医療情報」の学科目群を中心に「情報処理技術者」「オフィスマネジメント」等を交えながら、「プロジェクト研究」で実践教育を通じた教育を行っている。

卒業後の活躍可能分野は、医療事務、医療秘書およびその関連業務、社会福祉関連業務などである。

＜重点資格＞
情報処理技術者試験、IT パスポート試験、日商 PC 検定（文書作成）、日商 PC 検定（データ活用）、
日商簿記検定、秘書検定、CG 検定、フォトマスター検定、保険請求事務技能検定

２）カリキュラム

a. 開講科目（学科専門科目）一覧

学科専門科目（2016年度生）

科目の種別	授業科目名	授業形態	必選別	単位数	開講セメスター（開講はセメスター単位。数字は１週あたりの時間数。集中授業の場合は「集」と記載）				教員配置（兼担非常勤には「※」マーク）	受講者数（セメスター開講科目については累計。斜線は履修者数未確定）	e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ	備考
					1	2	3	4				
情報共通	情報基礎	講義	×	2	2				専任	24		
	ＩＣＴ総合演習	演習	×	2	2				専任	9		
	ディジタルメディア活用Ａ	演習	×	2	2				専任	18		
	ディジタルメディア活用Ｂ	演習	×	2		2			専任	16		
	グラフィックデザイン基礎	演習	×	2	2				非常勤	12		
	ビジネス基礎	講義	×	2	2				専任	15		
情報処理技術者	コンピュータ科学基礎	講義	×	2	2				専任	14		
	コンピュータシステム	講義	×	2	2				専任	13	＊	
	システムマネジメント	講義	×	2		2			専任	8	＊	
	情報セキュリティ	講義	×	2			2		専任			
	ＩＣＴ経営論	講義	×	2		2			専任	22	＊	
	情報処理技術者Ａ	講義	×	2	2				専任	12		
	情報処理技術者Ｂ	講義	×	2		2			専任	9		
Ｗｅｂデザイン	コンピュータネットワーク	講義	×	2		2			専任	16		
	データベース	演習	×	2			2		専任			
	アルゴリズム	講義	×	2		2			専任	9		
	ソフトウェアデザインI	実習	×	1	2				専任	17	＊	
	ソフトウェアデザインII	実習	×	1		2			専任	7		
	ソフトウェアデザインIII	実習	×	1			2		専任			
	ソフトウェアデザインIV	実習	×	1				2	専任			
	Ｗｅｂデザインｉ	実習	×	1	2				専任	20		
	Ｗｅｂデザインii	実習	×	1		2			専任	14		
	Ｗｅｂデザインiii	実習	×	1			2		専任			
	ＷｅｂプログラミングI	実習	×	1			2		専任			
	ＷｅｂプログラミングII	実習	×	1				2	専任			
デジタルアート	ディジタル広報メディア	講義	×	2	2				専任	14		
	２ＤＣＧデザイン	実習	×	1		2			非常勤	13		
	３ＤＣＧ基礎	演習	×	2		2			専任	15		
	３ＤＣＧデザインI	実習	×	1			2		専任			
	３ＤＣＧデザインII	実習	×	1				2	専任			
	ムービーデザインI	実習	×	1			2		専任			
	ムービーデザインII	実習	×	1				2	専任			
	アニメーション基礎	演習	×	2		2			非常勤	13		
	アニメーションデザインI	実習	×	1			2		非常勤			
	アニメーションデザインII	実習	×	1				2	非常勤			
オフィスマネジメント	オフィスデータ活用Ａ	演習	×	2		2			専任	14		
	オフィスデータ活用Ｂ	演習	×	2			2		専任			
	オフィスデータ活用Ｃ	演習	×	2				2	専任			
	マーケティング	講義	×	2		2			専任	4		
	メディアプレゼンテーション	講義	×	2			2		専任			
	ビジネス演習Ａ	演習	×	2			2	2	専任			
	ビジネス演習Ｂ	演習	×	2			2	2	専任			
	ビジネス英語	講義	×	1			2	2	専任			
医療情報	医事コンピュータ	講義	×	2			2		非常勤			
	医療情報概論	講義	×	2		2			非常勤	1		
	社会福祉概論	講義	×	2		2			非常勤	1		
	医療事務I	講義	×	2	2				非常勤	6		
	医療事務II	講義	×	4		4			非常勤	6		
プロジェクト	プロジェクト研究I	演習	○	1		2			専任	20		3単位必修
	プロジェクト研究II	演習	○	1			2		専任			
	プロジェクト研究III	演習	○	1				2	専任			

キャリア資格	ＰＣ文書作成Ａ	演習	×	2	2				専任	31		
	ＰＣ文書作成Ｂ	演習	×	2		2			専任	17		
	ＰＣデータ活用Ａ	演習	×	2		2			専任	30		
	ＰＣデータ活用Ｂ	演習	×	2			2		専任			
	秘書実務Ａ	演習	×	2	2	2			専任	24		
	秘書実務Ｂ	演習	×	2	2	2			専任	9		
	簿記Ａ	演習	×	2	2				専任	19		
	簿記Ｂ	演習	×	2		2			専任	6		
数理情報	理工数学入門Ａ	講義	×	2	2				専任	3		
	理工数学入門Ｂ	講義	×	2		2			専任	1		

ｂ．履修可能科目および卒業要件について

情報処理学科に所属する学生は、情報処理学科の学科専門科目のほか、項目（１）で挙げた両学科共通科目を履修できる。また、国際文化学科の学科専門科目についても、原則として履修可能である。このほか、１・２セメスターの学生が、３・４セメスターの科目を受講することは原則として認めない。

卒業要件としては、両学科共通科目および学科専門科目に設定された必修科目（必選別に○マークのある科目）を全て合格し、かつ、選択必修科目（必選別に●マークのある科目）の条件を満たし、合計で 62 単位以上の単位を取得することである。ただし、国際文化学科の学科専門科目については、卒業要件として最大で 20 単位までしか認めない。

３）自己点検・評価

モバイル情報機器、ソーシャルネットワーク、クラウドサービスなど極めて速い ICT の流れに対応し、多様化する学生のニーズにこたえ、より効果のある教育を行うために科目の見直しを図りながら教育改善に努めてきた。その中で、2011 年度に「プロジェクト実践」を新たに組込み、2012 年度より「プロジェクト研究」としてカリキュラム中核として位置づけ、2014 年度のカリキュラム改定においてもその位置づけを変えることなく教育体制を構築している。一方で、従来「メディアデザイン」と「オフィスマネジメント」という枠組みであった学びの分野を 2014 年度より細分化し、「Web デザイン」「デジタルアート」「オフィスマネジメント」「医療情報」の４つの分野として、より具体的な出口を意識した教育展開を図っている。

また、資格についても情報系国家資格である基本情報技術者試験の午前試験免除の継続など、各学びの分野に対応した取得支援体制をとっている。

「プロジェクト研究」では、入学当初よりその活動についての意識高揚を図る中で、ICT を活用した幅広いテーマに関心を持つ学生も多くおり、当初の目的に沿った自主的活動の成果が得られている。また、「プロジェクト研究」開始当初より議論されていた学生の成長指標の評価についても、学生カルテシステムを中心に学生個々の活動状況把握などに努めている。

（３）国際文化学科

１）教育方針・構成（カリキュラムポリシー）

国際文化学科では、グローバル化が進展する国際社会で活躍できる人材の育成という教育目標の下、韓国語・中国語を中心とする東アジア圏言語の学修に特化しつつ、さらに英語学修にも注力する「英語・韓国語・中国語分野」や国内外の観光産業の盛んな地である福岡において依然として人気の高いレジャー・観光関連産業に従事する人材を育成する「観光ビジネス分野」、さらに健康・運動への関心の高まりからスポーツを支える人材を育成する「スポーツマネジメント分野」などの３つの分野を設置している。

これらの３つの分野を配して、国際文化学科では、全体のコンセプトとして、次の４点に重点を置いている。第１に、語学教育（英語・韓国語・中国語）の充実である。ここでは特に、週２回開講による会話中心の実践型の授業を初め、週１回開講する目的別の専門科目などを設けることによって語学教育の充実を図っている。特に英語学習に関しては、習熟度別英語クラスを開講しており、３つの言語全般に渡って語学資格の授業の充実なども推進している。第２に、観光ビジネス分野及びスポーツマネジメント分野における体験型授業の導入である。ここでは例えば、プロジェクト活動における屋外授業や旅行関連の資格取得のための集中講義、スポーツ施設への訪問授業などを積極的に実行している。第３に、

教養教育の充実である。ここでは特に語学教育との連動を想定して、専門教育における海外及び日本の文化・歴史に関する科目の充実を図っている。第４に、留学制度の充実である。英語、韓国語、中国語にそれぞれ２～３週間の短期語学研修を設け、さらに１セメスター（４か月）の交換留学（韓国）の制度を設けている。また、卒業後に留学を希望する学生に対しては、それぞれのネイティブ教員による個別の留学指導も行っている。

なお、国際文化学科と情報処理学科の共通のカリキュラムとして、３カ国語初級、情報リテラシー、マネジメント基礎、コミュニケーション基礎、フレッシュマンゼミナールの５つの科目を必修とし、語学、ICT、社会人基礎力の醸成、初年次教育の推進に努めている。

英語・韓国語・中国語

公共施設の表示の他、公共交通機関のアナウンスなど、日本語だけでなく、英語を初め、韓国語や中国語で行われることも、もはや珍しいことではない。アジアの時代を迎え、国際言語である英語はもとより、経済や文化交流を通じて韓国語と中国語への関心と需要が急速に高まっている。このような背景を考慮しながら、本分野では英語・韓国語・中国語の修得を中心に科目を設置し、各国のネイティブ教員による指導のもと、実用的なコミュニケーション能力はもちろん、それぞれの国々の文化や歴史を学ぶことにより、単なるツールとしてだけではない語学力を身に付けさせることを分野の教育目標としている。また本分野では、短期語学研修や留学制度、さらには観光ビジネス分野の科目と組み合わせて履修することにより、実社会での進路に対応した学修を行うことができる。

観光ビジネス分野

働くだけでなく、生活や人生を楽しむことが今日の社会では重要になっている。こうした認識を背景に、本分野では、働くことと素敵に生きることのバランス（Work Life Balance）の視点で観光のことを学修する。旅行会社で国内外の旅行商品の企画を担当したプロフェッショナルな先生や理論的な研究でしっかり実績を積んでいる先生などの教授陣のもと、観光を両方の観点から学びながら、観光産業における企画力、マネジメント力、ホスピタリティ力、分析力を身に付けてもらうことを分野の教育目標に置いている。また本分野では、インターンシップや資格関連科目と組み合わせて履修することにより、より実践的な学修を行うことができる。なお、さらに深く観光学を学ぶことを希望する学生には、東海大学観光学部への編入制度も設けてある。

スポーツマネジメント分野

スポーツは、健康や生きる喜びと深く関連する大切な文化であり、参加者も種目も大会も実に多種多様である。スポーツへの認識と関心が高まる中、特にスポーツの表舞台を支える人材の育成は急務となっている。本分野では、スポーツ大会の企画や運営、施設や用具の管理、選手・チームの分析など、スポーツの世界に関する様々な知識と技術を学修し、大会や選手・チームのマネジメントや分析力、各種スポーツにおける救急処置や事故予防の技術、また運動生理学を基盤としたスポーツや健康を科学的に検証する能力など、スポーツに関する力を総合的に身に付けさせる学修を行っている。本分野での学修後は、スポーツ施設やクラブへの就職やさらに学びを深めたい学生には東海大学体育学部（湘南校舎）、経営学部（熊本校舎）、国際文化学部（札幌校舎）等への編入する制度もある。

＜重点資格＞

語学　実用英語技能検定、TOEIC、韓国語能力試験、ハングル能力検定、中国語検定、HSK

観光　国内旅行業務取扱管理者（国家資格）、総合旅行業務取扱管理者（国家資格）、国内旅程管理主任者

スポーツ　スポーツクラブマネージャー、中高老年期運動指導士、スポーツクラブインストラクター、子ども身体運動発達指導士、介護予防運動スペシャリスト

２）カリキュラム

a. 開講科目（学科専門科目）一覧

学科専門科目（2016年度生）

科目の種別	授業科目名	授業形態	必選別	単位数	開講セメスター（開講はセメスター単位。数字は１週あたりの時間数。集中授業の場合は「集」と記載）				教員配置（兼担非常勤には「※」マーク）	受講者数（セメスター開講科目については累計。斜線は履修者数未確定）	e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ	備考
					1	2	3	4				
国際共通	国際文化論	講義	●	2	2				専任	37		選択必修4単位以上
	異文化コミュニケーション論	講義	●	2			2		専任			
	国際交流史	講義	●	2		2			専任	49		
	地域文化圏研究（アメリカ）	講義	●	2			2		専任			
	地域文化圏研究（ヨーロッパ）	講義	●	2				2	専任			
	地域文化圏研究（アジアＡ）	講義	●	2	2				専任	29		
	地域文化圏研究（アジアＢ）	講義	●	2		2			専任	15		
	地域文化圏研究（日本）	講義	●	2	2				専任	22		
観光ビジネス	国際観光論	講義	×	2	2	2			専任	27		
	観光マーケティング	講義	×	2		2			専任	18		
	地域・環境ツーリズム	講義	×	2				2	専任			
	観光産業論	講義	×	2			2	2	専任			
	観光交通論	講義	×	2			2		専任			
	ホスピタリティマネジメント	講義	×	2			2		非常勤			
	観光と世界文化遺産（国内）	講義	×	2	2				非常勤	21		
	観光と世界文化遺産（海外）	講義	×	2		2			非常勤	28		
	商品企画演習	演習	×	2				2	専任			
	観光実習	実習	×	1			集		専任			
スポーツマネジメント	スポーツマネジメント概論	講義	×	2	2				専任	15		
	スポーツマネジメント論Ａ	講義	×	2		2			専任	9		
	スポーツマネジメント論Ｂ	講義	×	2			2		専任			
	スポーツマネジメント実習Ａ	実習	×	1	2				専任	10		
	スポーツマネジメント実習Ｂ	実習	×	1		2			専任	22		
	野外活動理論及び実習	実習	×	1			集		専任			
	生涯スポーツ論	講義	×	2			2		専任			
	生涯スポーツ実習Ａ	実習	×	1			2		専任			
	生涯スポーツ実習Ｂ	実習	×	1			集		専任			
	スポーツ・健康科学論Ａ	講義	×	2		2			専任	18		
	スポーツ・健康科学論Ｂ	講義	×	2			2		専任			
	スポーツ・健康科学論実習	実習	×	1			2		専任			
英語・韓国語・	英語コミュニケーションI	講義	×	1	2				専任	47		
	英語コミュニケーションII	講義	×	1	2				専任	44		
	英語コミュニケーションIII	講義	×	1		2			専任	13		
	英語コミュニケーションIV	講義	×	1		2			専任	13		
	英語プレゼンテーションI	講義	×	1			2		専任			
	英語プレゼンテーションII	講義	×	1			2		専任			
	英語プレゼンテーションIII	講義	×	1				2	専任			
	英語プレゼンテーションIV	講義	×	1				2	専任			
	留学英語I	講義	×	1		2			専任	4		
	留学英語II	講義	×	1			2		専任			
	留学英語III	講義	×	1				2	専任			
	ベーシック英語I	講義	×	1	2				専任	36		
	ベーシック英語II	講義	×	1		2			専任	28		
	ＩＣＴ英語I	講義	×	1			2		専任			
	ＩＣＴ英語II	講義	×	1				2	専任			
	韓国語コミュニケーションI	講義	×	1	2				専任	39		
	韓国語コミュニケーションII	講義	×	1		2			専任	28		
	韓国語コミュニケーションIII	講義	×	1			2		専任			
	韓国語コミュニケーションIV	講義	×	1				2	専任			

英語・韓国語・中国語	韓国語表現文型I	講義	×	1	2				専任	31		
	韓国語表現文型II	講義	×	1	2				専任	29		
	韓国語ライティングI	講義	×	1		2			専任	19		
	韓国語ライティングII	講義	×	1		2			専任	19		
	ドラマ韓国語	講義	×	1				2	専任			
	Ｋ－ＰＯＰ韓国語	講義	×	1				2	専任			
	中国語コミュニケーションI	講義	×	1	2				専任	25		
	中国語コミュニケーションII	講義	×	1		2			専任	17		
	中国語コミュニケーションIII	講義	×	1			2		専任			
	中国語コミュニケーションIV	講義	×	1				2	専任			
	中国語表現文型I	講義	×	1	2				専任	15		
	中国語表現文型II	講義	×	1			2		専任			
	中国語ライティングI	講義	×	1		2			専任	17		
	中国語ライティングII	講義	×	1				2	専任			
	中国語研究I	講義	×	1			2		専任			
	中国語研究II	講義	×	1				2	専任			
プロジェクト研究	プロジェクト活動I	演習	×	1		2			専任	20		
	プロジェクト活動II	演習	×	1			2		専任			
	プロジェクト活動III	演習	×	1				2	専任			
ゼミナール	ゼミナールI	演習	○	1	2				専任	56		4単位必修
	ゼミナールII	演習	○	1		2			専任	56		
	ゼミナールIII	演習	○	1			2		専任			
	ゼミナールIV	演習	○	1				2	専任			
キャリア資格	検定英語Ａ	演習	×	1	2				専任	12		
	検定英語Ｂ	演習	×	1		2			専任	16		
	ＴＯＥＩＣ・Ａ	演習	×	1			2		専任			
	ＴＯＥＩＣ・Ｂ	演習	×	1				2	専任			
	検定韓国語Ａ	演習	×	1		集			専任	10		
	検定韓国語Ｂ	演習	×	1			集		専任			
	検定中国語Ａ	演習	×	1		2			専任	16		
	検定中国語Ｂ	演習	×	1			2		専任			
	スポーツ資格対策演習Ａ	演習	×	2			集		専任			
	スポーツ資格対策演習Ｂ	演習	×	2			集		専任			
	旅行業務取扱管理者Ａ	演習	×	2	2				専任	21		
	旅行業務取扱管理者Ｂ	演習	×	2	2				非常勤	17		

ｂ．履修可能科目および卒業要件について

国際文化学科に所属する学生は、国際文化学科の学科専門科目のほか、項目（１）で挙げた両学科共通科目を履修できる。また、情報処理学科の学科専門科目についても、原則として履修でき、最大で 20 単位まで卒業要件として認められる。しかし、１・２セメスターの学生が、３・４セメスターの科目を受講することは原則として認めていない。

卒業要件は、両学科共通科目および学科専門科目に設定された必修科目（必選別に○マークのある科目）に全て合格し、かつ、選択必修科目（必選別に●マークのある科目）の条件を満たした上で、合計で 62 単位以上の単位を取得することである。

３）自己点検・評価

本学の閉学に伴い、２年次生のみの在籍であるが、最終年度となる本年度は、最後まで教育の質を維持し、卒業に向けて支障をきたすことのないよう、一部の科目を除いて、国際文化学科においても基本的に１・２年次の全科目を対象に開講することとなった。多くの学生が卒業単位を満たしている中で、科目によっては秋学期の科目で履修者０名となり、閉講となる科目も生じることとなったが、全学的に最後まで教育の責務を果たすことを目的にカリキュラムを展開することできたことに安堵している。

（４）学年暦

２０１７年	４月	３日（月）	春学期ガイダンス
		４日（火）	
		５日（水）	春学期授業開始
	７月	１７日（月・祝）	月曜授業日
		２２日（土）	春学期授業終了
		２４日（月）	春学期定期試験［追試験 7/26（水）］
		２５日（火）	
		２７日（木）	夏期休暇［～8/23（水）］
	８月	２４日（木）	９月学位授与式
		２５日（金）	秋学期ガイダンス
		２８日（月）	秋学期授業開始
		３１日（木）	短期大学（部）スポーツ大会出発［9/1（金）当日、9/2（土）帰福］
	９月	１日（金）	短期大学（部）スポーツ大会［9/2（土）帰福］
		４日（月）	木曜授業充当日
		５日（火）	金曜授業充当日
		６日（水）	補講日
		１８日（月・祝）	月曜授業日
		２３日（土・祝）	通常の祝日
	１０月	９日（月・祝）	月曜授業日
	１１月	１日（水）	建学記念式典（15：40～予定）
		２日（木）	補講日
		３日（金）	通常の祝日
		４日（土）	通常の土曜日
		５日（日）	通常の日曜日
		２３日（木・祝）	木曜授業日
	１２月	１６日（土）	秋学期授業終了
		１８日（月）	プロジェクト・ゼミナール発表会
		１９日（火）	秋学期定期試験［追試験 12/21（木）］
		２０日（水）	
		２２日（金）	冬期・春期休暇
２０１８年	２月	５日（月）	卒業ガイダンス
		１７日（土）	学位授与式・閉学式、卒業記念パーティー
		２４日（土）	閉学記念パーティー

（５）時間割

2017 年 5 月 1 日現在

２０１７年度授業時間割　情報処理学科（Ｂ６生）第１セメスター

注1）（　）内の、記号は○：必修　　●：選択必修　　×：選択、数字は単位数を表しています。
注2）担当教員名の上または左に表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日＼時限	１時限目 9:00～10:20	２時限目 10:30～11:50	３時限目 12:40～14:00	４時限目 14:10～15:30	５時限目 15:40～17:00	６時限目 17:10～18:30
月	ＩＣＴ総合演習（×2） 1408A 宮川、岡本 第1実習室 第4実習室	情報基礎（×2） 0603A 矢原 第1実習室 ／ コンピュータシステム（×2） 1222A 宮川 第1実習室	理工数学入門Ａ（×2） 1431A 宮川 2501	ＰＣ文書作成Ａ（×2） 1260A 矢原 第1実習室		
火	英語Ⅰ（●1） 9483A 神山 1305	ビジネス基礎（×2） 0022A 佐竹 2102	ディジタル広報メディア（×2） 1230A 原田 第2実習室			
水	情報基礎（×2） 0603A 矢原 第1実習室 ／ コンピュータシステム（×2） 1222A 宮川 第1実習室	コンピュータ科学基礎（×2） 1409A 宮川 第1実習室	観光とレジャー（●2） 1201A 藤本 1305	企業と社会（●2） 1203A 佐竹 2501		
木	簿記Ａ（×2） 1268A 佐竹 2501	韓国語Ⅰ（●1） 9910A 林 1307	ソフトウェアデザインⅠ（×1） 1410A 矢原 第1実習室			
金	中国語Ⅰ（●1） 9953A チョウ ゼミ室2･3	情報処理技術者Ａ（×2） 1264A 宮川 第2実習室	ディジタルメディア活用Ａ（×2） 1217A 八尋 第1実習室	ＷｅｂデザインⅠ（×1） 1414A 八尋 第1実習室		
土	スポーツ理論及び実習Ａ（×1） 1208A 岡本 コモンホール 総合グラウンド					

集中	海外短期留学　（×4）　東海大学派遣留学制度他

■履修登録番号および教室の表示がない科目については、後日掲示等で指示します。
■実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

２０１７年度授業時間割　国際文化学科（Ｂ６生）第１セメスター

注1）（　）内の、記号は○：必修　　●：選択必修　　×：選択、数字は単位数を表しています。
注2）担当教員名の上または左に表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日＼時限	１時限目 9:00～10:20	２時限目 10:30～11:50	３時限目 12:40～14:00	４時限目 14:10～15:30	５時限目 15:40～17:00	６時限目 17:10～18:30
月	英語コミュニケーションI（×1） 0031A ウェア 1307 ／ 英語コミュニケーションII（×1） 0032A ウェア 1307	韓国語表現文型I（×1） 1452A 林 1305 ／ 韓国語表現文型II（×1） 1453A 林 1305	ベーシック英語I（×1） 1448A 中釜 1307			
火	英語I（●1） 9483A 神山 1305		韓国語表現文型I（×1） 1452A 林 1305 ／ 韓国語表現文型II（×1） 1453A 林 1305 国際観光論（×2） 1277A 藤本、柏木 1303	地域文化圏研究（日本）（●2） 1434A 神山 1305		
水	地域文化圏研究（アジアA）（●2） 0815A 林 1303		観光とレジャー（●2） 1201A 藤本 1305	企業と社会（●2） 1203A 佐竹 2501		
木	韓国語コミュニケーションI（×1） 0831A 林 1307 スポーツマネジメント概論（×2） 1284A 北濱 2102	韓国語I（●1） 9910A 林 1307	検定英語A（×1） 1251A 中釜 1303		英語コミュニケーションI（×1） 0031A ウェア 1307 ／ 英語コミュニケーションII（×1） 0032A ウェア 1307	
金	中国語I（●1） 9953A チョウ ゼミ室2･3	中国語コミュニケーションI（×1） 9958A チョウ ゼミ室2･3	国際文化論（●2） 942EA 真下 1305	中国語表現文型I（×1） 1458A チョウ 1303		
土	スポーツ理論及び実習A（×1） 1208A 岡本 コモンホール 総合グラウンド					

集中	海外短期留学　（×4）　東海大学派遣留学制度他

■履修登録番号および教室の表示がない科目については、後日掲示等で指示します。
■実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

２０１７年度授業時間割　情報処理学科（Ｂ６生）第２セメスター

注1）（　）内の、記号は○：必修　　●：選択必修　　×：選択、数字は単位数を表しています。
注2）担当教員名の上または左に表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日＼時限	１時限目 9:00～10:20	２時限目 10:30～11:50	３時限目 12:40～14:00	４時限目 14:10～15:30	５時限目 15:40～17:00	６時限目 17:10～18:30
月	システムマネジメント（×2） 1236J 宮川 第2実習室	オフィスデータ活用Ａ（×2） 1426J 矢原 第1実習室	情報処理技術者Ｂ（×2） 1265J 宮川 第2実習室	ＷｅｂデザインII（×1） 1415J 八尋 第2実習室	コンピュータネットワーク（×2） 1223J 八尋 第1実習室 スポーツ理論及び実習Ｂ（×1） 1209J 岡本 コモンホール 総合グラウンド	
火	中国語II（●1） 9954J チョウ 2501	３ＤＣＧ基礎（×2） 1418J 原田 第2実習室	マーケティング（×2） 9471J 佐竹 2501			
水	ＩＣＴ経営論（×2） 1235J 宮川 第2実習室	３カ国語I（×2） 1210J 林、チョウ、ウェア 1305 各研究室	観光とレジャー（●2） 1201J 藤本 1305	企業と社会（●2） 1203J 佐竹 2102		
木	ＰＣ文書作成Ｂ（×2） 1261J 矢原 第1実習室	韓国語II（●1） 9911J 林 1307	理工数学入門Ｂ（×2） 1432J 宮川 1306	ソフトウェアデザインII（×1） 1411J 宮川 第1実習室	ディジタルメディア活用Ｂ（×2） 1218J 原田 第2実習室	
金	英語II（●1） 9486J 神山 1305	アルゴリズム（×2） 9419J 宮川 第2実習室	ＰＣデータ活用Ａ（×2） 1262J 八尋 第1実習室	簿記Ｂ（×2） 1269J 佐竹 2501		
土						

集中	

■履修登録番号および教室の表示がない科目については、後日掲示等で指示します。
■実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

２０１７年度授業時間割　国際文化学科（Ｂ６生）第２セメスター

注1）（　）内の、記号は○：必修　　●：選択必修　　×：選択、数字は単位数を表しています。
注2）担当教員名の上または左に表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日＼時限	１時限目 9:00～10:20	２時限目 10:30～11:50	３時限目 12:40～14:00	４時限目 14:10～15:30	５時限目 15:40～17:00	６時限目 17:10～18:30
月	留学英語I（×1） 1445J ウェア 第3実習室	韓国語コミュニケーションII（×1） 0832J 林 1305 観光マーケティング（×2） 1278J 柏木 1303	検定英語Ｂ（×1） 1252J 中釜 1303 スポーツ・健康科学論Ａ（×2） 1291J 岡本 2102	検定中国語Ａ（×1） 1257J チョウ 1305 スポーツマネジメント論Ａ（×2） 1285J 北濱 2102	スポーツ理論及び実習Ｂ（×1） 1209J 岡本 コモンホール 総合グラウンド	
火	中国語II（●1） 9954J チョウ 2501	ベーシック英語II（×1） 1449J 中釜 1303 中国語ライティングI（×1） 1460J チョウ 2501	韓国語ライティングI（×1） 1454J 林 1305 韓国語ライティングII（×1） 1455J 林 1305			
水	国際観光論（×2） 1277J 藤本、柏木 1303	３カ国語I（×2） 1210J 林、チョウ、ウェア 1305 各研究室	観光とレジャー（●2） 1201J 藤本 1305	企業と社会（●2） 1203J 佐竹 2102 国際交流史（●2） 1433J 林 1307		
木	英語コミュニケーションIII（×1） 1133J ウェア 1307 英語コミュニケーションIV（×1） 1134J ウェア 1307	韓国語II（●1） 9911J 林 1307	韓国語ライティングI（×1） 1454J 林 1305 韓国語ライティングII（×1） 1455J 林 1305			
金	英語II（●1） 9486J 神山 1305	地域文化圏研究（アジアB）（●2） 0721J チョウ 1305	中国語コミュニケーションII（×1） 9959J チョウ 1305	英語コミュニケーションIII（×1） 1133J ウェア 1307 英語コミュニケーションIV（×1） 1134J ウェア 1307		
土						

集中	*)1255J　検定韓国語Ａ　（×1）　林　1306　9/25～9/29, 9/30, 10/2～10/6, 10/7, 10/9(6時目、ただし9/30, 10/7のみ1～2時限目)

■履修登録番号および教室の表示がない科目については、後日掲示等で指示します。
■実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

２０１７年度授業時間割　情報処理学科（Ｂ６生）第３セメスター

注1）（　）内の、記号は○：必修　　●：選択必修　　×：選択、数字は単位数を表しています。
注2）担当教員名の上または左に表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日＼時限	１時限目 9:00～10:20	２時限目 10:30～11:50	３時限目 12:40～14:00	４時限目 14:10～15:30	５時限目 15:40～17:00	６時限目 17:10～18:30
月	アニメーションデザインI（×1） 1424A 岩田 第2実習室 第5実習室	プロジェクト研究II（○1） 9446B 八尋 第5実習室	メディアプレゼンテーション（×2） 1429A 矢原 第2実習室	情報セキュリティ（×2） 1237A 八尋 第3実習室	ＰＣデータ活用Ｂ（×2） 1263A 八尋 第2実習室	
火			言葉と文化（●2） 1202A 真下 1307 文学と歴史（●2） 9963A 神山 2501		キャリア対策Ｂ（×2） 1405A 真下、濱田、中釜 1307	
水	ＷｅｂプログラミングI（×1） 0203A 八尋 第2実習室	医事コンピュータ（×2） 1001A 武藤 第2実習室	キャリアプラニングＢ（×2） 1403A 矢原、宮川、濱田 2502 第1実習室 第2実習室 ゼミ室2,3 1307	現代社会と思想（●2） 9940A 真下 1305 健康とスポーツ（●2） 1101A 北濱、岡本 2102		
木	オフィスデータ活用Ｂ（×2） 1427A 矢原 第2実習室	プロジェクト研究II（○1） 9446A　矢原 9446C　宮川、岡本 各研究室 情報共同ゼミ室3 第2実習室	ムービーデザインI（×1） 1421A 原田 第2実習室	３ＤＣＧデザインI（×1） 1419A 原田、山中 第2実習室		
金	データベース（×2） 1224A 八尋 第2実習室	ＷｅｂデザインIII（×1） 1416A 八尋 第1実習室	ソフトウェアデザインIII（×1） 1412A 宮川 第2実習室	フランス語I（●1） 9920A 真下 1307		
土						

集中	企業実習　（×2）　矢原、藤本、佐竹、濱田

■履修登録番号および教室の表示がない科目については、後日掲示等で指示します。
■実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

２０１７年度授業時間割　国際文化学科（Ｂ６生）第３セメスター

注1）（　）内の、記号は○：必修　　●：選択必修　　×：選択、数字は単位数を表しています。
注2）担当教員名の上または左に表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日＼時限	１時限目 9:00～10:20	２時限目 10:30～11:50	３時限目 12:40～14:00	４時限目 14:10～15:30	５時限目 15:40～17:00	６時限目 17:10～18:30
月	韓国語コミュニケーションIII（×1） 0911A 林 1305 中国語研究I（×1） 1462A チョウ 2501	英語プレゼンテーションI（×1） 1441A ウェア 1307 英語プレゼンテーションII（×1） 1442A ウェア 1307	ＩＣＴ英語I（×1） 1450A ウェア 第3実習室	中国語表現文型II（×1） 1459A チョウ 2501	ＴＯＥＩＣ・Ａ（×1） 1253A 神山 1307	
火	観光産業論（×2） 1280A 藤本、柏木 1307	ゼミナールIII（○1） 1466A　林 1466B　真下 1466C　北濱 1466D　柏木 1466E　濱田 各研究室	言葉と文化（●2） 1202A 真下 1307 文学と歴史（●2） 9963A 神山 2501	観光交通論（×2） 1435A 柏木 1303	キャリア対策Ｂ（×2） 1405A 真下、濱田、中釜 1307	
水	検定中国語Ｂ（×1） 1258A チョウ 1307 スポーツ・健康科学論Ｂ（×2） 1440A 岡本 2102 スポーツ・健康科学論実習（×1） 1292A 岡本 スポーツマネジメント実習室	スポーツ・健康科学論Ｂ（×2） 1440A 岡本 2102 スポーツ・健康科学論実習（×1） 1292A 岡本 スポーツマネジメント実習室	キャリアプラニングＢ（×2） 1403A 矢原、宮川、濱田 2502 第1実習室 第2実習室 ゼミ室2,3 1307	現代社会と思想（●2） 9940A 真下 1305 健康とスポーツ（●2） 1101A 北濱、岡本 2102		
木	留学英語II（×1） 1446A ウェア 第3実習室	ホスピタリティマネジメント（×2） 1281A 田中丸 1303	地域文化圏研究（アメリカ）（●2） 0006A ウェア 1307	プロジェクト活動II（×1） 9446D　藤本 9446E　北濱 9446F　柏木 1307 観光文化研究所	生涯スポーツ論（×2） 1132A 岡本、北濱 1305	
金	英語プレゼンテーションI（×1） 1441A ウェア 1307 英語プレゼンテーションII（×1） 1442A ウェア 1307	異文化コミュニケーション論（●2） 9932A 神山 1307	中国語コミュニケーションIII（×1） 9960A チョウ 1307	フランス語I（●1） 9920A 真下 1307		
土	生涯スポーツ実習Ａ（×1） 1438A 北濱 1307 コモンホール 総合グラウンド	スポーツマネジメント論Ｂ（×2） 1286A 北濱、岡本、平野 1307 コモンホール 総合グラウンド				

集中	*)1256A	検定韓国語Ｂ	（×1）	林　1306	4/6～4/7,4/8,4/10～4/14,4/15(6時限目、ただし4/8,4/15は1～4時限目)
	0606A	野外活動理論及び実習	（×1）	北濱、柏木　1307	
	1437A	観光実習	（×1）	藤本　1305	
	企業実習		（×2）	矢原、藤本、佐竹、濱田	

■履修登録番号および教室の表示がない科目については、後日掲示等で指示します。
■実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

２０１７年度授業時間割　情報処理学科（Ｂ６生）第４セメスター

注1）（　）内の、記号は○：必修　　●：選択必修　　×：選択、数字は単位数を表しています。
注2）担当教員名の上または左に表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日＼時限	１時限目 9:00～10:20	２時限目 10:30～11:50	３時限目 12:40～14:00	４時限目 14:10～15:30	５時限目 15:40～17:00	６時限目 17:10～18:30
月		プロジェクト研究III（○1） 9447K 八尋 第5実習室	ＷｅｂプログラミングII（×1） 0204J 八尋 第1実習室			
火	アニメーションデザインII（×1） 1425J 岩田 第2実習室 第5実習室		言葉と文化（●2） 1202J 真下 1307	文学と歴史（●2） 9963J 神山 1303		
水	オフィスデータ活用C（×2） 1428J 矢原 第1実習室 ３カ国語II（×2） 1402A 林、チョウ、ウェア 1305 各研究室	フランス語II（●1） 9921J 真下 1307	健康とスポーツ（●2） 1101J 北濱、岡本 2102	現代社会と思想（●2） 9940J 真下 1305		
木		プロジェクト研究III（○1） 9447J　矢原 9447L　宮川、岡本 情報共同ゼミ室3 各研究室 第2実習室	ムービーデザインII（×1） 1422J 原田 第2実習室	３ＤＣＧデザインII（×1） 1420J 原田、山中 第2実習室		
金	ソフトウェアデザインIV（×1） 1413J 宮川 第2実習室					
土						

集中	

■履修登録番号および教室の表示がない科目については、後日掲示等で指示します。
■実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

２０１７年度授業時間割　国際文化学科（Ｂ６生）第４セメスター

注1）（　）内の、記号は○：必修　　●：選択必修　　×：選択、数字は単位数を表しています。
注2）担当教員名の上または左に表示された番号は「履修登録番号」です。

曜日＼時限	１時限目 9:00～10:20	２時限目 10:30～11:50	３時限目 12:40～14:00	４時限目 14:10～15:30	５時限目 15:40～17:00	６時限目 17:10～18:30
月	中国語研究II（×1） 1463J チョウ 2501 スポーツ資格対策演習Ａ（×2） 1468J 岡本、北濱 2102	英語プレゼンテーションIII（×1） 1443J ウェア 1307 英語プレゼンテーションIV（×1） 1444J ウェア 1307 スポーツ資格対策演習Ｂ（×2） 1469J 岡本、北濱 2102	中国語コミュニケーションIV（×1） 9957J チョウ 2501 観光産業論（×2） 1280J 藤本、柏木 1307	商品企画演習（×2） 1283J 藤本、柏木 1307 ドラマ韓国語（×1） 1456A 李 1303	生涯スポーツ実習Ｂ（×1） 1439J 北濱、平野 1307 コモンホール 総合グラウンド Ｋ－ＰＯＰ韓国語（×1） 1457J 李 1305	
火	地域・環境ツーリズム（×2） 1279J 柏木 1303	韓国語コミュニケーションIV（×1） 0912J 林 1305 ＴＯＥＩＣ・Ｂ（×1） 1254J 神山 1307	言葉と文化（●2） 1202J 真下 1307	文学と歴史（●2） 9963J 神山 1303	プロジェクト活動III（×1） 9447M　藤本 94470　柏木 1307 観光文化研究所	
水	３カ国語II（×2） 1402A 林、チョウ、ウェア 1305 各研究室	フランス語II（●1） 9921J 真下 1307	健康とスポーツ（●2） 1101J 北濱、岡本 2102	現代社会と思想（●2） 9940J 真下 1305		
木		留学英語III（×1） 1447J ウェア 第3実習室	ＩＣＴ英語II（×1） 1451J ウェア 第1実習室	ゼミナールIV（○1） 1467J　林 1467K　真下 1467L　北濱 1467M　柏木 1467N　濱田 各研究室	プロジェクト活動III（×1） 9447N 北濱 研究室	
金		英語プレゼンテーションIII（×1） 1443J ウェア 1307 英語プレゼンテーションIV（×1） 1444J ウェア 1307	地域文化圏研究（ヨーロッパ）（●2） 0030J 真下 1307	中国語ライティングII（×1） 1461J チョウ 1305		
土						

集中	

■履修登録番号および教室の表示がない科目については、後日掲示等で指示します。
■実施教室については、授業開始後、履修者数等により変更となる場合があります。

（６）教科書

＜２年春学期＞

科目名	担当教員	書　　名	出版社	売価
スポーツ理論及び実習A	岡本	健康・フィットネスと生涯スポーツ	大修館書店	2,060
英語Ⅰ	神山	Getting Ready to Go Abroad	成美堂	1,850
中国語Ⅰ	チョウ	らくだ最新中国語	とうか書房	1,540
コンピュータ科学基礎	宮川	平成29年度 イメージ&クレバー方式でよくわかる	技術評論社	1,830
コンピュータシステム	宮川	栢木先生の基本情報技術者教室		
情報処理技術者A	宮川	得点アップ　ITパスポート トレーニング問題集	大原出版	1,800
	宮川	平成29年度 ITパスポート合格教本	技術評論社	1,630
簿記A	佐竹	最新段階式簿記検定問題集日商3級　三訂版	実教出版	960
理工数学入門A	宮川	やさしく学べる基礎数学―線形代数・微分積分―	共立出版	2,060
英語コミュニケーションI	ウェア	Get Real New Edition Student Book 1	Macmillan	2,570
英語コミュニケーションII	ウェア			
ベーシック英語I	中釜	Say It Now！	金星堂	1,850
中国語コミュニケーションI	チョウ	らくだ最新中国語	とうか書房	1,540
中国語表現文型I	チョウ	新版　標準中国語　　基礎編	白帝社	2,260
検定英語A	中釜	EIKEN Lodestar 英検準2級・2級ロードスター	CENGAGE	2,060
健康とスポーツ	北濱、岡本	健康・フィットネスと生涯スポーツ	大修館書店	2,060
フランス語I	真下	Salut!	駿河台出版	2,570
ソフトウェアデザインIII	宮川	スッキリわかるJava入門 第2版	インプレス	2,670
医事コンピュータ	武藤	日本医療事務協会オリジナルテキスト（☆）		8,500
地域文化圏研究（アメリカ）	ウェア	The USA (Oxford FactFiles 3)	Oxford	740
生涯スポーツ実習A	北濱	健康・フィットネスと生涯スポーツ	大修館書店	2,060
英語プレゼンテーションI	ウェア	Present Yourself 1, 2nd Edition: Experiences	Cambridge Univ.	2,770
英語プレゼンテーションII	ウェア			
留学英語II	ウェア	Encounters Abroad	南雲堂	2,260
中国語コミュニケーションIII	チョウ	中国成語故事	天津社会科学出版社	1,500
中国語表現文型II	チョウ	新版　標準中国語　　基礎編	白帝社	2,260
中国語研究I	チョウ	中国成語故事	天津社会科学出版社	1,500
TOEIC・A	神山	The TOEIC Listening & reading Test CIRCUIT	松拍社	1,950

＜２年秋学期＞

科目名	担当教員	書　　名	出版社	売価
スポーツ理論及び実習B	北濱	健康・フィットネスと生涯スポーツ	大修館書店	2,060
英語II	神山	Getting Ready to Go Abroad	成美堂	1,850
システムマネジメント	宮川	平成29年度 栢木先生の基本情報技術者教室	技術評論社	1,830
ICT経営論	宮川	平成29年度 ITパスポート合格教本	技術評論社	1,630
情報処理技術者B	宮川	得点アップ　ITパスポート トレーニング問題集	大原出版	1,800
		平成29年度 ITパスポート合格教本	技術評論社	1,630
アルゴリズム	宮川	平成29年度 栢木先生の基本情報技術者教室	技術評論社	1,830
ソフトウェアデザインII	宮川	スッキリわかるJava入門 第2版	インプレス	2,670
簿記B	佐竹	最新段階式日商簿記検定問題集3級　三訂版	実教出版	960
理工数学入門B	宮川	やさしく学べる基礎数学	共立出版	2,060
		やさしく学べる離散数学	共立出版	2,060
英語コミュニケーションIII	ウェア	Get Real New Edition Student Book 2	Macmillan	2,570
英語コミュニケーションIV	ウェア			
留学英語I	ウェア	Communicate Abroad: Essential English for Travel and Study	CENGAGE	2,060
ベーシック英語II	中釜	Say It Now！	金星堂	1,850
検定英語B	中釜	EIKEN Lodestar 英検準2級・2級ロードスター	CENGAGE	2,060
健康とスポーツ	北濱、岡本	健康・フィットネスと生涯スポーツ	大修館書店	2,060
フランス語II	真下	Salut!	駿河台出版	2,570
ソフトウェアデザインIV	宮川	スッキリわかるJava入門 第2版	インプレス	2,670
生涯スポーツ実習B	北濱・平野	健康・フィットネスと生涯スポーツ	大修館書店	2,060
留学英語III	ウェア	Read to Write, 2nd Edition	BTB Press	1,750
TOEIC・B	神山	The TOEIC Listening and Reading Test CIRCUIT <Updated Edition>	松柏社	1,950

２．教育の質の保証と改善に向けて

（１）ゼミナールと個別指導

短期大学での学修環境に早期に対応できない学生の増加に伴い、「フレッシュマンゼミナール」を開講している。また、本学では入学直後の学生を支援する目的で、特に第 1 セメスターでは学生 10 名程度につき指導教員 1 名を配置した少人数指導体制を敷いている。

「フレッュマンゼミナール」では、科目の最初にゼミごとの履修指導や個別相談を実施すると共に、ニュースポーツを中心としたレクリエーションを行い、環境対応の早期問題解消と学生相互のコミュニケーションの構築をはかっている。次に「学ぶことの楽しさ・スキルを学ぶ」というテーマのもと、授業ノートの取り方、レポートの書き方を指導した後、本学施設（図書館、PC 実習等）をどの様に学修に活用するのかをツアー形式で行った。次に、２年間という短期間での教育を踏まえ、早期に自身の進路に関する意識を涵養する目的で、「未来を体験し自己を探る」というテーマのもと、進路指導・アンケート・講演、およびグループワークによる自己発見ゲームを行った。また、それまでの集大成としてテーマに沿ったレポートを提出させ、各指導教員が添削し、個別にレポート指導を行った。その中で、特に優秀なレポートに対しては表彰を行い、学生のモチベーション向上に努めた。これらの活動を通して、初年次教育の目的の多くを達せられたと思っている。反省点としては、全体で活動する時間が多くなり、指導教員との信頼関係を構築する時間があまり取れなかったことにより、真の意味での学生相談になりきらなかったのではないかという点である。

また、本学では、学生一人ひとりの様々な情報を集約し、全ての教職員が共有するための Web システム「学生カルテ」を運用している。1999 年度から運用されている本システムは、本学専任教員によって開発され、以降、継続的な改善・改良が施され今日に至っている。この学生カルテによって、学生の個別情報の迅速かつ的確な把握と、教職員同士の情報の共有化が可能になったことで、個別指導の現場に、日々の学生の情報が直接反映され、「学生一人ひとりに一対一で向き合う」ことを目指す、本学のきめ細かい個別指導の基盤を構成している。しかし、「学生カルテ」への情報の書き込み量に関して、教職員間での格差が生じており、十分な情報を把握できない学生も出てきている。「学生カルテ」の利用に関して、再度、学内での十分なコンセンサスをとり、学生個々の的確な状況把握と組織的対応に向けた検討が必要である。

（２）ＦＤ活動

１）目的

本学は、多様性を増す学生一人ひとりに対応できる教育の実現による、初期高等教育そのものの質的変革を目指している。また、教育機関としての原点である教育能力の向上を第一に考えねばならない。これらの目標を実現するために、以下の２点を中心に活動を行う。

- リアルタイム授業評価の実施推進
- FD 研究会への参加

２）リアルタイム授業評価の実施

本学では、大学で一般的に行われている授業評価のほか、授業時間毎に実施するリアルタイム授業評価も任意で行なっている。FD・SD 委員会としては、このリアルタイム授業評価への参加を強く呼びかけ、教育能力の向上を目指している。なお、詳細については本年報の III にて述べる。

３）ＦＤ研究会の実施

東海大学で実施されて、本学へは TV 会議システム（双方向通信）を使って配信されている FD・SD 研究会に参加する形で FD・SD 研究会に代えている。

（３）e ラーニング

近年の少子化や短期大学をめぐる社会的要請の変化などにより、入学する学生の特徴は、年齢・国籍・学習経歴・基礎学力から、入学目的・希望進路に至るまで、多様化の一途を辿っている。このような状況において、教育の質と学生の満足度を高めるためには、個々の状況を的確に把握し、かつ、その状況

に見合った対応を行う「個別教育」の実現が必要である。

本学では、個別教育の実現に向けた取組みとして、情報技術を活用したｅラーニングによる授業形態の導入など、｛いつでも｝｛どこでも｝｛誰でも｝学ぶことのできる教育環境づくりを推進している。

１）取組み概要

2005 年度、「学びの自由化と個別教育の推進」を掲げた本学の取組みが、文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラムとして採択されたことを契機として、正規科目のｅラーニング教材開発及び授業実施の支援を現在に至るまで組織的に展開している。なお、この取組みの中心組織であったメディア情報センターは 2011 年度に解散したことから、現在は、図書館（企画・教材開発・授業実施支援）及び情報システム室（技術的支援）がその役割を分担して引き継いでいる。

本学のｅラーニングは、学生カルテと恒常的なメンタリングを基盤として、独自のウェブ教材開発・提供と有機的に結合されることによって、多様な個々の学生に対する教育効果の増進を図るところに、その特色がある。まず、学生カルテには、授業担当教員や指導教員等と学生との日常的なメンタリングによって得られた、学生の学修状況・希望進路・生活状況などの情報が蓄積され、教職員間での迅速な情報共有を実現している。この情報をもとに、本学学生の将来目標や能力に適する独自教材の開発や既存教材の改善修正、さらには個々の状況に応じた指導や教材／課題の提示に繋げていくのである。これは、授業担当教員自らが開発に関与したウェブ教材であるからこそ実現可能な取組みである。なお、開発されたウェブ教材は、本学が管理する CMS（Moodle）にて提示され、学生がいつでもどこでも利用できるようになっている。上記文科省の財政的支援が終了したのちも、その精神が本学の文化として根付いた証左と言えるだろう。

また、科目の提供する全ての内容について充分なウェブ教材が整備され、ｅラーニングによる授業実施の準備が整った正規科目については「ｅラーニング履修可能科目」として学則上の明確な位置付けを行い、様々な事情により通常の対面授業に参加できない学生であっても、授業の全てもしくは一部のｅラーニング受講と恒常的なメンタリング（遠隔メンタリングを含む）によって、単位修得を可能としている。特に近年は精神的な問題を抱えている学生がこの制度を活用する傾向がみられる。